

□ 要請番号 (JL02616B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	F201 観光		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

セントメリー マザレロ 職業訓練高校

3) 任地 (バウカウ県ベニラレ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1988年に設立されたイタリアミッション系の職業訓練高校。若者が「正直な市民、よき人々」になることをビジョンとして、ホスピタリティー、調理の2つのコースで職業訓練を提供している。少人数制で1クラスの定員は30名。全生徒はおよそ180名で、もともと女子を対象としていたため、共学となった現在でも女生徒が約8割を占める。授業料は月5米ドル。最終学年ではホテルやレストランなどでの実習も行われ、卒業生のうち約4割程度は大学に進学し、残りは就職を希望している状況。生徒は専門科目に加え、数学、歴史、起業・経済、マーケティング、心理学、地理、宗教、メディアコミュニケーション、語学(英語・ポルトガル語)等を履修。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

東ティモールは経済開発の柱として観光業をあげており、観光促進は政府の政策として取り上げられてはいるものの、実態はまだまだという状況。働き口、人材共に不足しており就業率の低さは深刻で、未就労、未就学の若者への対策は重要な課題となっている。

配属先はコンテストで東ティモールでのベスト職業訓練校になるなど、国内のレベルとしては高く評価されているが、東ティモール自体がサービス業に関する経験や知識も乏しく意識も低い。現地教員は実務経験が十分とは言えず、実際の現場に即した職業訓練を提供するためにボランティアが要請された。住居は配属先施設内になる予定。なお、首都ディリにある同系列の学校にも隊員が配置される予定で、情報交換なども行いながら、全体的な底上げに結びつくことを期待している。また、同配属先から料理隊員の養成も上がっており、相乗的な協力を目指す。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

授業時間:月-水 8:00~12:50、14:00~17:00、木-金 8:00~12:50、土 課外活動(スポーツ、音楽、美術など)
職業高校の為高い技術は必要ないが、卒業後の選択肢をひろげ、実際に使える実務的かつ基礎的な技術や知識を指導する。ボランティアの協力する専門科目は、学年ごとに理論2時間、実習3~4時間/週の予定。

- 経験を活かして同僚と共にサービス業に関する国際的なスタンダードについての座学、実技指導を行う。
(基本マナー、テーブルセッティング・デコレーション、バンケット・ウェディングデコレーション、ホテル業務、フロント業務、受付対応、ベッドメイキング、ハウスキーピング、クリーニング、バーテンダー技術など)
- 同僚と知識や経験を共有し、授業内容や授業計画を立てる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

併設されたゲストハウスを実習で利用、受付カウンター、レストランテーブル等
(※ホテル業務が実習できるようになっている)

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長は40代の女性でインドネシアで学位を取得し自らも英語を教えている。
教員は17名おり、ホスピタリティーコースの専門教科担当は以下の2名。
生徒は中学卒業者。

1.20代女性 勤続3年、学士(ホスピタリティー学科)
2.30代女性 勤続9年、インドネシアでの専門コース(1年)を終了

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（専門学校卒）文系 備考：理論指導も行うため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実務に基づいた指導を期待している

[参考情報]：

- ・学歴参考:ホテル専門学校卒等

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（23～32℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

活動及び生活言語は主に現地語(テトゥン語)となり、赴任後に学習する。
教科書は英語のものとポルトガル語のものを使用。国際的なサービスでは英語も有用なため、基本的な英語力が必要。